



自主・自律・敬愛

津南中学校だより

令和8年6月第3号



文責：校長 太島 誠

校長室から

校長 太島 誠

広島県知事を四期16年にわたり務め、2025年11月に任期を終えられた前広島県知事の湯崎 英彦氏を講師に迎え、平和学習特別講演会を開催しました。

講演では、「核兵器と平和について」を演題に、原爆による被害、世界の核兵器を巡る現状、各国の核兵器政策などについてお話いただきました。中学生にとっては、難しい内容もありましたが、具体的かつ丁寧に分かりやすく説明してくださり、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。

講演の中では、広島県が掲げる「核兵器のない平和な世界」の実現に向けた三つのアプローチについても紹介されました。一つ目は「非人道性」であり、核兵器使用による壊滅的な被害への理解を国内外に広げていくこと。二つ目は「安全保障」であり、核抑止に依存しない安全保障体制を追求すること。三つ目は「持続可能性」であり、持続可能な未来を築くための地球規模課題の一つとして核問題を捉えていくことです。

さらに、湯崎氏は、生徒たちに次の二つの問いを投げかけました。

「なぜ核兵器を廃絶しなければならないのでしょうか。」

「そもそも、なぜ原爆が投下されたのでしょうか。」

新潟県には、世界最大級の発電能力を有する柏崎刈羽原子力発電所があります。核兵器と原子力発電は、いずれも核エネルギーを利用しています。2011年の東日本大震災に伴い、福島第一原子力発電所の事故が発生したことは、私たちの記憶に深く刻まれています。私自身、事故から8年後に福島県双葉町を訪れました。国道沿いに広がる、放射線の影響によって荒廃した町並みや田畑の光景は、今も忘れることができません。車や農機具が置かれたまま、まるで時間が止まってしまったかのような状況でした。そして現在もなお、事故処理の完了には見通しが立っていません。だからこそ、その「核」が兵器として保有されている現実について、私たちはより真剣に考えていかなければなりません。

今回の講演が、生徒一人一人にとって平和について深く考える契機となり、「これから自分はどのように生きていくのか」「どのような未来を築いていきたいのか」を見つめ直す機会になってほしいと願っています。



5月12日(火)・14日(木)、2年生が、職業講話を開催しました。前半は、江村 大輔 地域コーディネーターの進行で、各講師から「中学生時代の夢」「現在の職業に就いたきっかけ」「やりがいや苦労」などのテーマで、自身の体験や思いを語っていただきました。後半は、小グループに分かれて自身の仕事について詳しく教えていただきました。2年生は、6月30日から3日間の職場体験を町内で実施します。

第1回 富澤 克弘 様 (富澤住設)
(5/12) 福原 歩 様 (松屋・パン菓子職人)
風巻 志穂 様 (雪国・温泉旅館)
志賀 文也 様 (Tap・運動指導)

第2回 滝沢 萌子 様 (Biko・デザイナー)
(5/14) 高橋 一志 様 (高橋工務所・土木建築)
飯酒盃 青空 様 (ゆきぐに信用組合)
山田 剛 様 (ツマリデザイン建築設計)



5月20日(水)、第1回生徒総会で、今年度のスローガン(下記)が発表されました。全校生徒一人一人が様々な場面で活躍でき、あいさつで活気をつくり、絆を深めながら、星のように全校生徒が輝く津南中学校を創りたいという思いが込められています。

< ALL STARS ～110人の主人公たち～ >

スローガンに
込めた思い

- ・全員が主役である津南中を目指す
- ・光り輝く星のように、あいさつで輝く津南中を
- ・全校の絆を大切にする



5月22日(金)、15回目の佐平治遠足(Aコース30km、Bコース23km)は、保護者・地域のボランティアを合わせて24名の方々から運営サポートをいただき、実施できました。ありがとうございました。



5月26日(火)、生徒朝会で、学級目標の発表がありました。目標を決めた理由や目指す学級の姿を代表生徒が発表しました。より良い学級づくりが、一人一人の成長へつながることを目指します。

1年1組: あじたま

安心・明るく 時間・自己管理 楽しく元気に 学ぶ

2年1組: 個性ゆたかでイイじゃん ～何事にも全力挑戦～

2年2組: 個性豊かな やきとり ～熱く全力で鳥組む力～

3年1組: 乗るしかない このビックウェーブに ～困難な壁をぶっ壊せ!～



6月2日(火)中越地区大会激励会を開催しました。仲間の健闘を願い、応援団のリードのもと、応援歌や校歌、エールで互いに激励しました。代表生徒の決意表明では、一人一人の言葉に大会に臨む強い決意が表れていました。これまで培ってきた力を思う存分発揮し、仲間の激励応援を力に変え、大いに活躍することを期待します。

<中越地区大会開催日等>

①: 1日目②: 2日目③: 3日目。()は、初戦の会場。部及びクラブ: 津南中生の登録人数

卓球 ①6/11(小千谷市総合体育館)②6/12③6/17 10名

ソフトテニス ①6/3(小千谷市白山運動公園)②6/12③6/13 5名

バスケットボール①6/13(長岡市中之島体育館)②6/19③6/20

男子: 津南(6名)・南・川西・中等・中里・水沢合同チーム

バレーボール ①6/13(魚沼市総合体育館)②6/18③6/19 10名

軟式野球 ②6/11(大原運動公園野球場)③6/17

クラブ: 十日町EAST 3名

バドミントン ①6/9②6/10(両日、長岡市民体育館)

クラブ: 津南ジュニア 5名

陸上競技 ①6/12②6/13(両日、長岡市営陸上競技場) 11名

水泳 ①6/12②6/13(両日、ダイエープロビスフェニックスプール)

クラブ: 十日町体力づくり支援センター 1名 Tap スイミングスクール 3名



<生徒の活躍> ○数字は学年

◆緑の羽根共同募金 5月12日から14日

ボランティア委員会が、毎朝生徒玄関で募金活動を行いました。

金額は、5,401円です。津南町役場を通じて寄付しました。

◆陸上競技部 2026 十日町市・中魚沼郡小中陸上競技選手権大会 5/30

中学女子共通 1500m 6位 Y. S②

中学1男子走幅跳 4位 H. Y 中学1年男子4×100mR 5位 Y.R・H.Y・U.R・Y.W

ご協力ありがとうございました。

